

# 輝く卒業生たち

各務原市立那加第二小学校  
田中 良樹さん

## Profile

岐阜県出身。2015年3月、滋賀大学教育学部環境教育課程(2018年3月31日廃止)卒業。同年4月に岐阜県各務原市立那加第二小学校に赴任。現在は同小学校で6年生を担任。スポーツが得意で、高校卒業まではテニスプレーヤーとして活躍。大学時代はさまざまバイトを経験し、社会勉強を積んだ。バイト先で家族のようにあたたかく接してもらい、今も石山を第二の故郷として懐かしむ。

**子どもたちの“できた！”“わかった！”を大切にしながら、達成感のある授業で学校生活を楽しく。**

### 環境を学んだ強みを活かして滋賀大へ。

岐阜農林高校で農業や土木、ビオトープといった環境科学を学びつつ、漠然と高校の農業の先生に憧れています。大学進学に際しては環境を学んだ強みを活かしたいと思い、高校の先生の勧めもあって、滋賀大学教育学部の環境教育課程に進学を志しました。大学時代は船に乗って琵琶湖の水質調査をしたり、琵琶湖の透明度を計るなどのフィールドワークも行いました。4回生の時は、滋賀県甲賀市の伝統野菜である杉谷とうがらしの機能的な特性を研究。ゼミ仲間と共に、農場で野菜の栽培をしたことがとても印象に残っています。ゼミの先生とは年齢が近いこともあって、よく一緒に鍋パーティをやったりしましたし、ゼミ生のお誕生日には必ずお祝いしてもらいました。

### 一念発起して臨んだ教員採用試験。

漠然と教員への憧れをもって入学しましたが、とりあえずまずは小学校教諭の免許を取ろうと思って勉強しました。2回生になった時、もう一つ何か取りたいと思い、スポーツが得意だったこともあって中学校教諭一種免許状(保健体育)を取りました。真剣に教員採用試験の勉強を始めたのは3回生の後半からです。その頃に受けた試験結果が思わしくなかったため、一念発起。夜遅くまで大学に残って友達と一緒に勉強したり、音楽室にこもってピアノの練習をしたり、美術のデッサンも実技試験があったため、一生懸命手を描く練習もしました。小論文対策は専門の先生にお願いして添削指導をしていただきました。岐阜県は実技試験の種類が多く、プレゼン試験というようなものもあって対策が大変でした。



### 豊富な人生経験が教員としての幅を広げる。

新卒で各務原市立那加第二小学校に赴任し、今年で3年目になります。1年目は2年生、2年目は1年生、今年は6年生の担任です。初担任の時は精神的にも余裕がなくて苦しい毎日でしたが、2年目からは「子どもたちをこんな風に育てたい」と先の見通しを立てができるようになりました。教員生活が楽しくなりました。現在は体育を中心に指導していますが、6年間鉄棒が一度もできなかっただ子供たちが「できた！」と喜んでくれるなど、教師としてのやりがいを感じています。子どもたちの「できた！ わかった！」という積み重ねを大切にしていきたいですね。在学中はできるだけいろいろな場所を訪れたり、いろいろなことにチャレンジして下さい。豊富な人生経験は、教員としての幅を広げることにきっと役立つと思います。

